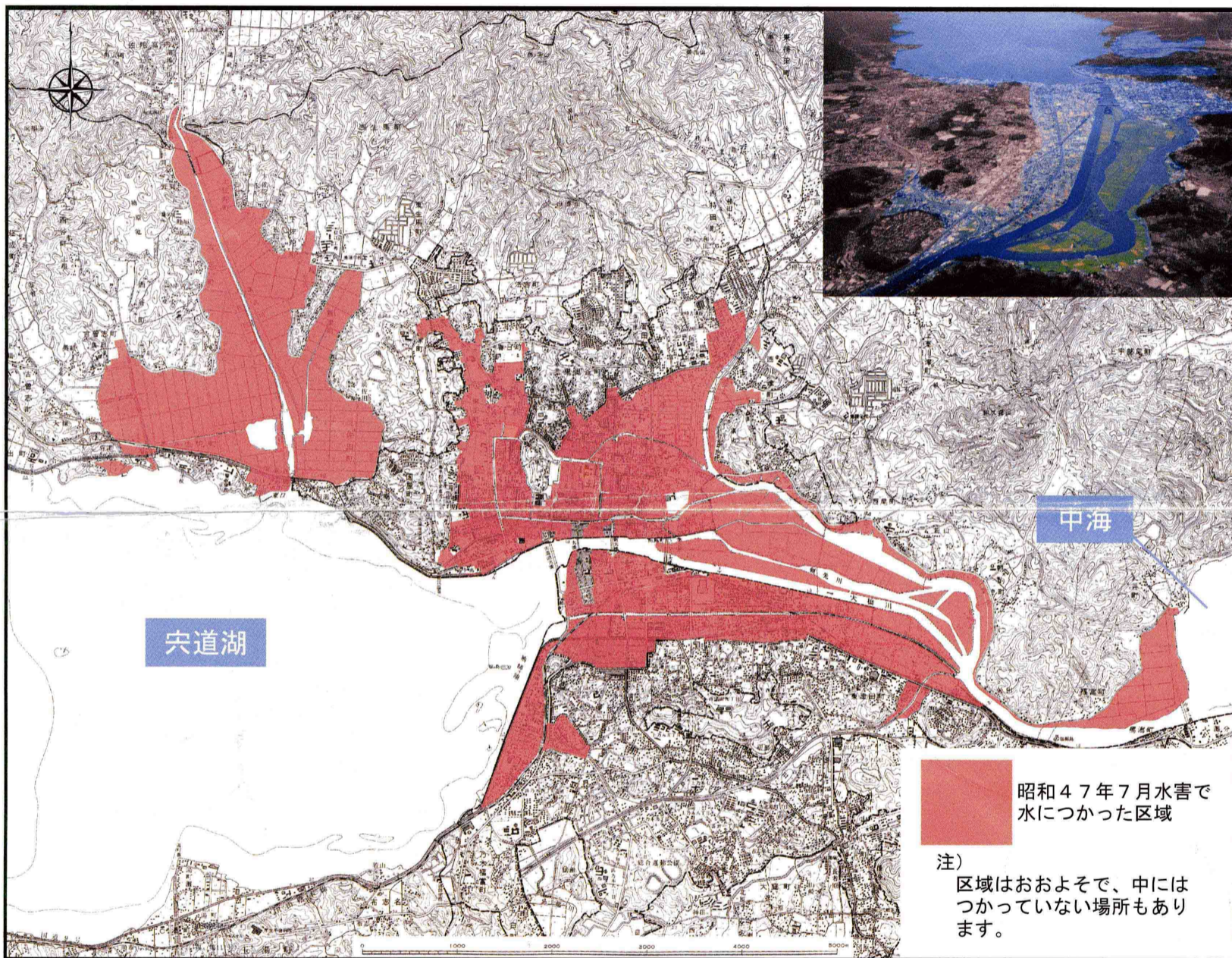


# 大橋川通信(第2号)

昭和47年7月水害を知っていますか？  
あなたはどこに住んでいますか？

松江市は、昭和47年7月の水害で大きな被害を受けました。

水害時、松江市のどこがかったのか、見てみましょう。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平15 中複 第174号)

昭和47年7月水害では、斐伊川上流で2日間に356mmもの豪雨が降ったため、上の図のとおり、松江市街地の大半が水につかりました。その理由は

- ①松江市は地盤の低さがあるところにある。
- ②穴道湖は水はけが悪いため水位が上がりやすい。
- ③大橋川には堤防がほとんどない。

の3点に集約されます。だから、ひとたび大雨が降ると、すぐに水につかってしまうのです。

▼新大橋通り(朝日町・昭和町)



新大橋通り(朝日町・昭和町)



駅通りから見た伊勢宮町・御手船場町付近

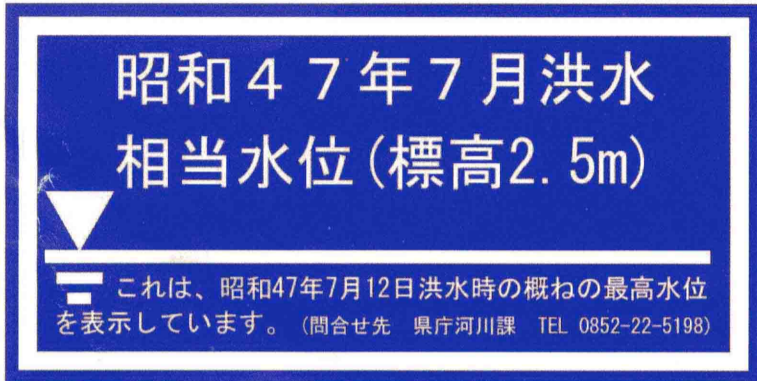
▲伊勢宮町・御手船場町付近

上の①～③の3つの状況は、現在も昭和47年7月水害時とほとんど変わっていません。同じような大雨が降るとまた水につかってしまうことが考えられます。



# 昭和47年7月洪水相当水位標識を知っていますか？

水害から30余年が経過し、水害を知る人達の記憶も風化しつつある中で、30代半ば以前の若い世代は昭和47年7月水害の事を全く知らないという状況にあります。そこで、昭和47年7月水害の浸水水位の情報を目に見える形として提供するとともに、松江市の治水対策について改めて考えていただくために、下図のような標識(プレート、シール)を市内150地点に設置しています。



昭和47年7月水害時は、概ね標高2.5mまで水位が上がりました。

この線が標高2.5mのライン。

これら標識の写真を集めた写真帳が大橋川コミュニティーセンターにあります。一度ご覧の上、あなたの家の近くがどれくらいの水位であったか、ご確認ください。

**標識設置対象区域**  
松江市街地

**標識設置場所**  
対象区域内から選定した道路照明灯、道路案内標識柱、信号柱、横断歩道橋、バス停、及び県庁、市役所、学校、公民館等の公共施設。

番号	34
住所	松江市殿町
名称	位置図
道路案内標識柱	B-4
標識種類	シール
浸水深さ*	85 cm
※)ピン標高から昭和47年7月洪水相当水位(2.50m)までの高さ	

これがその標識です。

写真帳は、右のような内容となっております。

また、この写真帳のほかに、表面の浸水図などの詳しい資料は大橋川コミュニティーセンターで、見ることができます。

## センターからのお知らせ

### ●大橋川船上ウォッチング

～大橋川の地形をはくちょう号の船上から見ませんか？～

右記の日程にて、「大橋川船上ウォッチング」を開催します。参加希望の方は当センターまでお申し込み下さい。

### ●洪水疑似体験施設マイナーチェンジ

洪水疑似体験施設の映像を一部新しくし、より分かりやすく、リアルな内容になりました。ぜひ、一度体験してみてください。

参加無料!

10月19日(日) 9:30~11:30

※募集人員60名程度(先着順)

本紙に関するご意見、ご感想があればお寄せ下さい。

お気軽にご来場、お問い合わせください。

## 大橋川コミュニティーセンター

〒690-0841 松江市向島町134-4

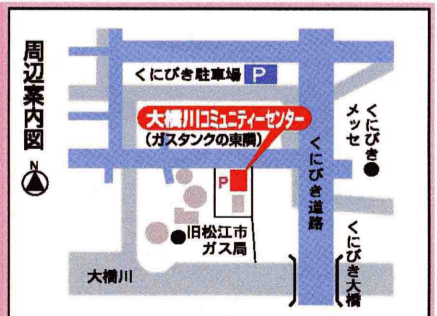
TEL0852-28-3621・3622 FAX0852-28-3623

### 利用案内

開館時間 AM9:30~PM4:00

休館日なし

駐車場有り(5台程度)



※大橋川コミュニティーセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営しています。